

平成 28 年度 第 1 回学校協議会報告

日時：平成 28 年 8 月 27 日（土）

13:00～15:00

会場：東大谷高等学校 多目的室 1

1. 校長挨拶

2. 協議会委員自己紹介（敬称略）

委員：東 京子氏 有本昌剛氏 至 孝也氏 出口千賀氏 出口雄一氏
中村俊一氏 西村治也氏 堀川 浩氏 宮坂政宏氏

事務局：神代一徳（校長） 長尾文孝（教頭） 市居政彦（進路指導部長）
橋本壽志（指導部長） 井之元剛（校務部長） 東明美（教務部長）
出水謙一郎（入試対策部長） 志藤真裕（情報部長）

3. 議事

（1）平成 28 年度当初生徒概況

- ・生徒募集にあたり，2020 年問題対策として「探究ゼミナール」は PR 効果が大きい。
- ・男子は「進路」「部活動」を見て学校を選択する。

（2）平成 28 年度学校経営目標 … 人間教育をする進学校へ

- ・進学コースの特徴をさらに鮮明に打ち出す。
- ・東大谷の人間教育は学力の 3 要素の獲得に必要である。
- ・模試分析を通じて個々の生徒の弱点をカバーしてゆく体制を構築する。
- ・ICT 活用では，iPad に数多く触れることで「興味・関心」につながると考えている。
- ・東大谷には「探究ゼミナール」「10 年未来プロジェクト」「宗教」等の積み上げがあり，独自のアクティブラーニングを行うことができる。

（3）第 1 回授業アンケート結果

- ・評価の低い設問 3（予習復習）は「自ら学ぶ」につながる大事な要素で，低い原因をしっかりと分析するべき。
- ・予復習の不足は教員側の課題で，授業改善が第一である。
- ・否定的意思を持つ生徒をどう指導してゆくかが大切。
- ・到達度チェックテスト等のソフトを導入すると効果が期待できる。
- ・今後，アクティブラーニングを意識した設問や「意欲の高まり」を問う項目を追加する。
また，学力の 3 要素について触れることも大切である。

（4）その他

- ・ホームページ等を活用して，保護者に積極的に学校のことを知らせるべきだ。
- ・「和文化」を知ることは今後のグローバル社会を生き抜くための重要な要素である。
- ・堺市は千利休の出した町で人間教育の一環として「茶道」を取り入れられないか。